



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社  
コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）大塚 信行  
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 管理本部長 （氏名）奥津 明洋 TEL 045-474-9000  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	32,730	9.4	2,081	78.6	1,931	50.8	1,440	44.7
2025年3月期第3四半期	29,922	△1.3	1,165	△36.6	1,280	△41.3	995	0.1

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 868百万円（△33.5%） 2025年3月期第3四半期 1,304百万円（△25.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	110.36	109.84
2025年3月期第3四半期	74.03	73.70

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	48,110	24,460	49.4
2025年3月期	47,008	26,132	54.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 23,766百万円 2025年3月期 25,423百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	35.00	—		
2026年3月期（予想）				40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2026年2月9日）公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	10.8	3,000	58.9	2,800	59.6	2,100	75.0	172.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年2月9日）公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。また、「1株当たり当期純利益」につきましては、自己株式の取得による影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 台灣三榮高科技股分有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	13,700,000株	2025年3月期	13,700,000株
2026年3月期3Q	1,319,314株	2025年3月期	532,914株
2026年3月期3Q	13,051,527株	2025年3月期3Q	13,450,003株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託E口が保有する当社株式(2026年3月期3Q 79,700株、2025年3月期 42,000株)が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期3Q 60,133株、2025年3月期3Q 42,000株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(収益認識関係の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の関税政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加や、底堅い企業収益を背景とした設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が継続しております。一方、先行きについては、物価動向による個人消費への影響が懸念されるほか、米国の通商・対中政策や地政学的リスクなど、依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、システム・サービス事業が前年同期実績に及ばなかったものの、半導体設計関連事業が堅調に推移したことや、テストソリューション事業の業績が改善したことなどから、売上高32,730百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益2,081百万円（同78.6%増）、経常利益1,931百万円（同50.8%増）親会社株主に帰属する四半期純利益1,440百万円（同44.7%増）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### 〔テストソリューション事業〕

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発やメモリー以外の周辺ソリューションの拡大に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、国内向けメモリーテスターの需要回復には至っていないものの、海外向けの新製品販売が大幅に伸長し増収となりました。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、プローブカード及び信頼性評価装置の販売が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度にプローブカード事業の一部を譲渡したことなどにより販売費及び一般管理費が減少し収益性が改善しました。

その結果、当事業の売上高は11,535百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は411百万円（前年同期はセグメント損失654百万円）となりました。

#### 〔半導体設計関連事業〕

半導体設計関連事業は、関連サービスの強化や新規顧客の開拓、既存顧客との関係強化など積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品である半導体設計用（EDA）ソフトウェアについては、既存顧客との長期契約や新規顧客開拓が順調に進捗したことなどにより堅調に推移いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、ベトナム子会社におけるAI関連事業の需要が減少したものの、国内における主力顧客の需要が概ね堅調に推移したことや、自社製IPの販売が伸長したことなどにより増収増益となりました。一方、株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスは、半導体や自動車関連向けの受注が伸び悩み減収となりました。

その結果、当事業の売上高は10,200百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は559百万円（同57.6%増）となりました。

#### 〔システム・サービス事業〕

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力するとともに、展示会やWEBを活用し新規顧客の獲得を図るなど積極的な営業活動を行ってまいりました。自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、主に社会インフラや防衛・船舶向けが伸長し増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、決済システムのサービス収入や車載向けソフトウェア関連の受託開発が堅調に推移したことなどにより増収増益となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、自動車関連の需要が減速している状況において、検証ツール販売は概ね堅調に推移したものの、エンジニアリングサービスが伸び悩んだことや、新規受注を見込んだ外注費が一時的に過大となったことなどにより減収減益となりました。株式会社レグラスは、画像処理関連の受託開発が順調に進捗したことやAIカメラシステムの販売も伸長し増収増益となりました。

その結果、当事業の売上高は10,994百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は1,387百万円（同6.2%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は48,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,102百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や仕掛品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は23,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,774百万円増加いたしました。これは主に、前受金や未払法人税等、長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は24,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,672百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得などによるものであります。この結果、自己資本比率は49.4%となり、前連結会計年度末に比べ4.7ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年11月10日に公表いたしました2026年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2026年2月9日付で別途公表しております「業績予想および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,532,327	7,311,188
受取手形、売掛金及び契約資産	11,141,796	11,223,809
商品及び製品	6,052,657	6,280,130
仕掛品	1,242,732	1,513,764
原材料	2,059,834	1,903,350
その他	2,682,256	3,101,082
流動資産合計	29,711,605	31,333,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,981,944	9,029,977
減価償却累計額	△5,757,435	△5,938,334
建物及び構築物（純額）	3,224,509	3,091,643
土地	5,872,784	5,872,784
その他	3,877,678	4,228,018
減価償却累計額	△2,381,783	△2,588,161
その他（純額）	1,495,894	1,639,857
有形固定資産合計	10,593,189	10,604,285
無形固定資産		
のれん	638,158	545,047
その他	1,234,427	1,280,513
無形固定資産合計	1,872,586	1,825,561
投資その他の資産		
投資有価証券	2,648,107	2,074,858
その他	2,182,888	2,272,937
投資その他の資産合計	4,830,995	4,347,796
固定資産合計	17,296,771	16,777,643
資産合計	47,008,377	48,110,968

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,197,709	3,384,543
短期借入金	8,366,272	7,444,659
1年内返済予定の長期借入金	400,000	600,000
未払法人税等	426,293	844,423
前受金	4,070,403	6,102,155
賞与引当金	603,939	876,625
役員賞与引当金	—	23,691
製品保証引当金	—	67,149
その他	2,102,409	2,193,712
流動負債合計	19,167,026	21,536,961
固定負債		
長期借入金	850,000	1,250,000
役員退職慰労引当金	94,616	103,364
株式給付引当金	50,498	62,600
退職給付に係る負債	378,410	394,669
その他	335,239	302,962
固定負債合計	1,708,764	2,113,596
負債合計	20,875,791	23,650,557
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,069,017	4,079,463
利益剰余金	9,497,392	10,013,280
自己株式	△676,186	△2,258,753
株主資本合計	23,407,383	22,351,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,450	33,076
繰延ヘッジ損益	△42,460	△4,352
為替換算調整勘定	1,670,951	1,328,681
退職給付に係る調整累計額	68,831	57,720
その他の包括利益累計額合計	2,015,772	1,415,125
新株予約権	21,730	21,730
非支配株主持分	687,698	672,405
純資産合計	26,132,585	24,460,410
負債純資産合計	47,008,377	48,110,968

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	29,922,833	32,730,753
売上原価	20,929,062	22,664,790
売上総利益	8,993,771	10,065,962
販売費及び一般管理費	7,828,096	7,984,508
営業利益	1,165,674	2,081,453
営業外収益		
不動産賃貸料	372,401	363,588
その他	340,185	100,747
営業外収益合計	712,586	464,336
営業外費用		
不動産賃貸費用	290,805	264,318
持分法による投資損失	14,606	124,522
その他	292,480	225,528
営業外費用合計	597,892	614,369
経常利益	1,280,369	1,931,420
特別利益		
投資有価証券売却益	—	437,850
その他	319,415	850
特別利益合計	319,415	438,700
税金等調整前四半期純利益	1,599,785	2,370,121
法人税等	532,998	904,329
四半期純利益	1,066,787	1,465,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	71,062	25,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	995,724	1,440,338



（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	1,066,787	1,465,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,775	△284,945
繰延ヘッジ損益	100,435	38,107
為替換算調整勘定	110,230	△339,678
退職給付に係る調整額	△12,425	△11,111
その他の包括利益合計	238,016	△597,628
四半期包括利益	1,304,803	868,163
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,226,810	839,691
非支配株主に係る四半期包括利益	77,993	28,472

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

台湾三榮高科技股份有限公司は清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	1,260,874	—	—	1,260,874	—	1,260,874
STAr Technologies	8,345,858	—	—	8,345,858	—	8,345,858
EDA他	—	6,801,878	—	6,801,878	—	6,801,878
三榮ハイテックス	—	2,793,892	—	2,793,892	—	2,793,892
モーデック	—	165,383	—	165,383	—	165,383
組込みシステム他	—	—	2,422,694	2,422,694	—	2,422,694
アイティアアクセス	—	—	4,101,865	4,101,865	—	4,101,865
ガイオ・テクノロジー	—	—	3,694,056	3,694,056	—	3,694,056
レグラス	—	—	336,329	336,329	—	336,329
顧客との契約から生 じる収益	9,606,733	9,761,154	10,554,945	29,922,833	—	29,922,833
外部顧客への売上高	9,606,733	9,761,154	10,554,945	29,922,833	—	29,922,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	93	18,729	18,822	△18,822	—
計	9,606,733	9,761,247	10,573,674	29,941,655	△18,822	29,922,833
セグメント利益又は損 失（△）	△654,689	355,069	1,480,048	1,180,428	△14,753	1,165,674

（注）1．セグメント利益又は損失（△）の調整額△14,753千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△13,788千円及び棚卸資産の調整額△964千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	2,862,742	—	—	2,862,742	—	2,862,742
STAr Technologies	8,673,168	—	—	8,673,168	—	8,673,168
EDA他	—	7,094,072	—	7,094,072	—	7,094,072
三栄ハイテックス	—	2,965,778	—	2,965,778	—	2,965,778
モーデック	—	140,912	—	140,912	—	140,912
組込みシステム他	—	—	2,886,477	2,886,477	—	2,886,477
アイティアアクセス	—	—	4,195,840	4,195,840	—	4,195,840
ガイオ・テクノロジー	—	—	3,536,054	3,536,054	—	3,536,054
レグラス	—	—	375,707	375,707	—	375,707
顧客との契約から生 じる収益	11,535,910	10,200,763	10,994,079	32,730,753	—	32,730,753
外部顧客への売上高	11,535,910	10,200,763	10,994,079	32,730,753	—	32,730,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	532	60,493	61,025	△61,025	—
計	11,535,910	10,201,295	11,054,572	32,791,779	△61,025	32,730,753
セグメント利益	411,466	559,756	1,387,798	2,359,021	△277,567	2,081,453

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,567千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△277,895千円及び棚卸資産の調整額328千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年11月8日及び2025年11月10日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期会計期間において51,700株、当第3四半期会計期間において761,400株の自己株式をそれぞれ取得しております。

また、第2四半期連結会計期間において、当社役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を9,000株、当第3四半期連結会計期間において、当社執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を14,500株、当社従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式を3,500株処分いたしました。このほか、株式給付信託（J-ESOP）への追加拠出に伴う第三者割当による自己株式の処分や連結子会社株式の追加取得などを含め、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が10,445千円、自己株式が1,582,566千円それぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,079,463千円、自己株式が2,258,753千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	973,095千円	932,369千円
のれんの償却額	167,054	99,167

（収益認識関係の注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。